

英語語法文法学会第19回大会プログラム

(大会参加費：学会会員 500 円 (予稿集代) / 当日会員 2,000 円 (予稿集代を含む))

日時：2011年10月15日(土) <昼食は、大学周辺、ならびに学内の食堂もご利用いただけます。>

開催校：奈良女子大学

住所：〒630-8506 奈良市北魚屋西町

<http://www.nara-wu.ac.jp>

順路：(1) 「近鉄奈良駅」より徒歩5分。

(2) 「JR奈良駅」より徒歩15分、あるいは路線バスで「近鉄奈良駅」下車徒歩5分。

●京都駅からは、

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分。あるいはJR奈良線でJR奈良駅まで快速50分、普通1時間10分。

●大阪駅からは、

JR大阪環状線(外回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快急・急行)で近鉄奈良駅まで約50分。あるいはJR大阪環状線(内回り)、

JR大和路線経由大和路快速(直通)でJR奈良駅まで50分。

開催校委員：内田聖二・須賀あゆみ

ワークショップ(文学系N棟N202講義室) ●研究発表(文学系N棟N202・N302講義室) ●総会(文学系S棟2階大講義室)
シンポジウム(文学系S棟2階大講義室) ●一般休憩室・書籍展示(文学系N棟N101講義室) ●司会者・関係者(ワーク
ショップ・研究発表・シンポジウム発表者) 控え室(文学系N棟N301講義室) ●大会本部・運営委員会室(文学系S棟S123
講義室)

受付：10時30分より 文学系N棟1階ホール

ワークショップ(文学系N棟2階N202講義室) 10.40 - 11.50

司会 大竹芳夫(新潟大学)

1. 「To blame or To be blamed?」・・・・・・・・・・辻前正男(京都府立大学大学院)
2. 「もう一つのクジラの公式」・・・・・・・・・・明日誠一(青山学院大学非常勤)
3. 「I've killed him と I killed him の含意」・・・・・・・・・・金子輝美(愛知淑徳大学非常勤)
4. 「「たまたま」と Happen to 不定詞」・・・・・・・・・・田岡育恵(大阪工業大学)

受付：12時30分より 文学系N棟1階ホール

研究発表 13.00 - 14.45

第1室(文学系N棟2階N202講義室)

司会 松村瑞子(九州大学)

1. 「必要性と重要性を表す形容詞と前置詞の選択について—necessary と important を中心に—」・・松井 涼(関西学院大学大学院)
2. 「副詞節が名詞句を修飾するとき—構文と類推の観点から—」・・・・・・・・・・金谷 優(神田外語大学)
3. 「最上級形容詞を伴う among の機能について—have among the Adj-est Ns を中心に—」
・・・・・・・・藤川勝也(大阪市立大学非常勤)・五十嵐海理(龍谷大学)

第2室(文学系N棟3階N302講義室)

司会 梅咲敦子(関西学院大学)

1. 「語彙と構文の合成による意味の創発—take の項はなぜ双方向に移動できるのか?—」・・・・・・・・井口智彰(広島大学大学院)
2. 「推量を表す will と must における「時」と意味論的特徴の違い」・・・・・・・・小澤賢司(日本大学大学院)
3. 「Walk one's way にみられる意味的特徴について」・・・・・・・・金澤俊吾(高知県立大学)

総会(文学系S棟2階大講義室) 15.00 - 15.20

開会の辞 会長 安井 泉 (筑波大学)
開催校代表挨拶 三野博司 (奈良女子大学文学部長)
学会賞選考報告 会長 安井 泉 (筑波大学)
事務局報告 事務局長 吉良文孝 (日本大学)

シンポジウム(文学系S棟2階大講義室) 15.35 - 17.45

テーマ 「日英語の比較—話法あるいは引用をめぐる—」

司会 内田聖二(奈良女子大学)

1. 「話法研究としてみつたれの原理—前提を減らして眺める引用表現の姿—」・・・・・・・・山口治彦(神戸市外国語大学)
2. 「公的表現・私的表現と日英語の話法」・・・・・・・・廣瀬幸生(筑波大学)
3. 「メタ表象からみた引用」・・・・・・・・内田聖二(奈良女子大学)

閉会の辞 内田聖二(奈良女子大学)

懇親会 18.00 - 19.30 ラウンジ(文学系S棟1階) (懇親会費：一般 4,000 円 学生 2,000 円)

連絡先：英語語法文法学会

(〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 日本大学文理学部英文学科 吉良文孝研究室内)

Tel. 03-5317-9709 Fax 03-5317-9336 email: kira@chs.nihon-u.ac.jp